

名古屋大学情報連携基盤センター

共同利用システム速報 No.17

平成 15 年 8 月 20 日 発行

目 次

1 . VPPFortran コンパイラの障害について	1
2 . 汎用計算サーバ利用技術開発プロジェクトの公募について (再掲)	1
3 . Gaussian 03 の利用について (再掲)	2
4 . グリッド研究推進実験プロジェクトの公募について (再掲)	2
5 . お試し計算可能な個別講習プログラム (再掲)	2
6 . AVS/VisLink 講習会の開催について (再掲)	2
7 . 画像処理システム講習会の開催について (再掲)	4
8 . IDL (Interactive Data Language) 利用講習会の開催について (再掲)	4

1 . VPPFortran コンパイラの障害について

スーパーコンピュータ vpp の Fortran コンパイラにおいて、実行結果異常となる障害が見つかりました。この障害は、8 月 18 日 (月) の保守日に修正されています。障害の内容およびその障害が自分のプログラムに該当するかどうかのチェック方法については、センターの HP の “システム利用案内” の “スーパーコンピュータ VPP5000/64 利用案内” のページの <Fortran コンパイラの障害> の項目を参照してください。

2 . 汎用計算サーバ利用技術開発プロジェクトの公募について (再掲)

汎用計算サーバ gpcs は、64 台の CPU と 64GB のメモリを搭載している SMP です。このサーバを利用して、利用技術開発を行うプロジェクトを募集します。プロジェクトの実験期間は 3 ヶ月程度で、利用に掛かる負担金はセンターが負担します。公募の詳細は、センターのホームページを参照してください。

3 . Gaussian 03 の利用について (再掲)

汎用計算サーバ gpcs とスーパーコンピュータ vpp で Gaussian 03 Revision B.03 が利用可能になりました。Gaussian 03 の起動コマンドは、g03 です。Gaussian 03 の新機能については、<http://www.gaussian.com> を参照してください。なお、現在のところ、vpp では、逐次版のみが利用可能です。gpcs では、逐次版と並列版ともに利用可能で、利用方法は、Gaussian98 と同様です。

4 . グリッド研究推進実験プロジェクトの公募について (再掲)

3 月末にグリッドコンピューティングシステムとして、富士通 HPC2500 (2 ノード構成、1 ノードあたり CPU32 台、メモリ 32GB) が導入されました。このシステムを利用して、グリッド研究推進実験に参加するプロジェクトを募集します。プロジェクトの実験期間は、年度ごとです。公募の詳細は、センターのホームページを参照してください。

5 . お試し計算可能な個別講習プログラム (再掲)

スーパーコンピュータや汎用計算サーバを使って

スーパーコンピュータや汎用計算サーバを使って計算したいのだけれど、手持ちのプログラムがスーパーコンピュータで翻訳実行できるかどうかわからない、ベクトル化や並列化によるプログラムの高速化のための技法がわからないなどの理由で、利用を躊躇しているユーザが多いのではないのでしょうか。そのような人のために、スーパーコンピュータや汎用計算サーバが試用可能な無料の教育プログラムを始めます。

期間 : 2 週間 (ただし、条件により延長も可能。)

使用条件 : CPU 時間の上限を設定します。

センターの計算機利用に関してまったくの初心者にも対応します。また、プログラムの走らせ方、プログラムチューニングに協力します。原則として、個別対応となりますので、計算機の利用時期等は、相談の上決定させていただきます。

申し込みは、センターのホームページからお願いします。

6 . AVS/VisLink 講習会の開催について (再掲)

AVS/VisLink の講習会を下記の内容で開催します。受講の申込みは、センター 4 階事務受付 (052-789-4355) で行います。

日 時 平成 15 年 9 月 4 日 (木) 10 時 ~ 16 時 30 分

場 所 情報連携基盤センター 3 階端末室

対 象 本センター利用有資格者及び学部学生

内 容

AVS/Express (対話型 3 次元ビジュアライゼーションシステム)

- ・ AVS の概要説明およびデモ
- ・ 基本操作
- ・ 可視化実習

- 1) 基本的可視化ネットワーク
- 2) 可視化結果の出力機能紹介

VisLink (リアルタイム可視化システム)

- ・ リアルタイム可視化システムについて
- ・ VisLink のシステム構成と機能概要
- ・ 実習
 - 1) VisLib プログラミング
 - 2) Reducer の使用方法
 - 3) VisLink モジュールの使用方法

日 程

10:00	12:00	13:00	14:30	16:30
AVS 概要説明およびデモ 基本操作説明	昼休み	実習 質疑応答	VisLink 概要説明 実習	

定 員 15名

申込締切日 平成15年9月1日(月)ただし、定員になり次第締切ります。

申 込 先 本センター4階事務受付

電 話 : 052-789-4355

メール : koshu@i tc. nagoya- u. ac. j p

(電子メールで申し込む場合には所属、職名等の身分も明記してください。)

<パッケージ口メモ>

AVS/Express

汎用可視化システムの一つで、数値シミュレーションの実行結果や実験で測定した数値データを可視化するシステムです。流体解析、構造解析、医療画像など幅広い分野で利用されています。コーディング不要のビジュアルプログラミングにより高度な可視化表示アプリケーションの作成が可能です。可視化の結果は、gif、jpeg、VRML、AVI、MPEG1、GFA(3D動画)等に出力可能です。

VisLink

VisLink は、計算サーバで実行中の大規模科学技術計算の途中結果をリアルタイムに可視化するためのソフトウェアです。従来、科学技術計算の可視化は、計算終了後の結果を収めたファイルを AVS 等の可視化用ソフトウェアに転送してから可視化する「ポスト・プロセッシング」が主に行われていましたが、VisLink を用いると計算の途中結果をリアルタイムに可視化できるようになるため、計算の妥当性がいち早く確認でき、研究開発の効率が大きくアップします。

7. 画像処理システム講習会の開催について（再掲）

画像処理ワークステーション（gamma1、gamma2、alpha15）を使った画像処理システムの講習会を下記の内容で開催します。受講の申込みは、センター4階事務受付（052-789-4355）で行います。

日 時 平成15年9月5日（金）13時30分～16時30分
場 所 情報連携基盤センター3階端末室
対 象 本センター利用有資格者及び学部学生
内 容
・ 実験データやシミュレーションデータの可視化およびコンテンツ作成
・ VTR機器の使い方
定 員 15名
申込締切日 平成15年9月3日（水）ただし、定員になり次第締切ります。
申 込 先 本センター4階事務受付
電 話：052-789-4355
メール：koshu@i tc. nagoya- u. ac. j p
（電子メールで申し込む場合には所属，職名等の身分も明記してください。）

8. IDL(Interactive Data Language)利用講習会の開催について（再掲）

汎用計算サーバ gpcs で動作する可視化のためのソフトウェア IDL の初心者を対象とした講習会を開催します。受講の申込みは、センター4階事務受付（052-789-4355）で行います。

日 時 平成15年9月12日（金）13時～17時
場 所 情報連携基盤センター1階端末室
対 象 本センター利用有資格者及び学部学生
内 容
・ IDLの概要説明
・ 基本操作説明
定 員 16名
申込締切日 平成15年9月9日（火）ただし、定員になり次第締切ります。
申 込 先 本センター4階事務受付
電 話：052-789-4355
メール：koshu@i tc. nagoya- u. ac. j p
（電子メールで申し込む場合には所属，職名等の身分も明記してください。）